



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社アゴーラホスピタリティグループ 上場取引所 東
コード番号 9704 URL <https://www.agora.jp/group>
代表者 （役職名）代表取締役会長 （氏名）ウィニー・チュウ・ウィン・クワン
問合せ先責任者 （役職名）財務経理部部长 （氏名）石井伸幸 TEL 03-3436-1860
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	7,350	22.7	795	503.1	769	374.8	1,432	—
2024年12月期第3四半期	5,989	15.3	131	—	162	—	9	—

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 1,560百万円（694.3％） 2024年12月期第3四半期 196百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	5.43	—
2024年12月期第3四半期	0.04	0.04

（注）当連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	20,496	8,688	27.7
2024年12月期	20,653	6,647	18.0

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 5,670百万円 2024年12月期 3,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				—	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	9,500	13.4	850	69.3	800	222.4	1,400	—
								5.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、本日（2025年11月12日）公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	281,708,934株	2024年12月期	281,708,934株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	15,005,055株	2024年12月期	27,734,941株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	263,808,410株	2024年12月期 3 Q	253,944,122株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 経営成績の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年9月30日)においては、訪日外国人観光客数の堅調な増加に支えられ、売上高は前年同期を大きく上回る結果となりました。日本政府観光局の推計によると、2025年9月の訪日客数は3,266,800人となり、単月として初めて300万人を突破し、9月として過去最高を更新しました。また、9月までの累計では31,650,500人となり、過去最速で3,000万人を突破するなど、引き続き訪日旅行市場の好調が継続しております。

このような市場環境のもと、ホテル事業を中核とする当社グループの売上高は好調に推移しました。結果として、売上高は前年同期の5,989百万円から1,361百万円増加し、7,350百万円(前年同期比22.7%増)と大きく増加いたしました。

売上総利益は2,553百万円(前年同期比35.2%増)となり、前年同期の1,888百万円から664百万円増加しました。

次に、営業利益は795百万円(前年同期は131百万円)となり、前年同期比で503.1%増と大幅に増加いたしました。これは、売上高が大きく増加したこと、及び販管費の増加を抑制したことが主な要因です。

また、経常利益は769百万円(前年同期は162百万円)となり、前年同期比で374.8%増と大幅な増加となりました。これは、営業利益が663百万円増加したことに加え、持分法による投資利益として61百万円、違約金収入として59百万円を営業外収益に計上した一方、支払利息を119百万円営業外費用に計上したことなどによります。

また、2025年8月1日付「アゴーラプレイス大阪難波の運営終了に関するお知らせ(続報)および特別利益計上について」にてお知らせしましたとおり、アゴーラプレイス大阪難波において生じた未払い債務の免除を受け債務免除益1,113百万円を特別利益として計上したことなどにより、四半期純利益は1,556百万円となりました。非支配株主に帰属する四半期純利益は123百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,432百万円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業における売上高は6,628百万円(前年同期比28.0%増)となり、前年同期の5,177百万円から1,451百万円と大きく増加しました。

当第3四半期会計期間(2025年7月1日～2025年9月30日)においては、売上高が前年同四半期比24.3%増(412百万円増)の2,110百万円と大きく伸長いたしました。主な要因は、2025年3月に開業したDorsett by Agora大阪堺が352百万円の売上高を計上し貢献したこと、及び既存施設の売上高が好調によるものであります。

特に大阪の施設では、大阪万博開催に伴う需要の高まりなどを背景に、客室平均単価(ADR)が大幅に上昇いたしました。ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺はADRが前年同四半期比40.9%上昇し、さらに料飲部門も好調に推移したため売上高は760百万円(前年同四半期比25.2%増)と大きく伸長いたしました。また、ホテルアゴーラ大阪守口のADRも前年同四半期比34.8%上昇し、売上高は423百万円(前年同四半期比14.6%増)となりました。これにより、2025年7月末をもって運営を終了したアゴーラプレイス大阪難波の前年同四半期比206百万円の売上高減少を十分にカバーいたしました。なお、同ホテルの売上高は2025年7月31日に運営を終了したものの、当第3四半期累計期間の売上高は808百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

東京の施設においては、アゴーラ東京銀座のADRが前年同期比1,392円減少したものの、アゴーラプレイス東京浅草は稼働率・ADRともに堅調に推移し、アゴーラプレイス東京浅草及びアゴーラ東京銀座を運営しているアゴーラホテルマネジメント東京の売上高は当第3四半期累計期間で1,177百万円(前年同期比12.3%増)と大きく増加しました。

② その他投資事業

その他投資事業においては、売上高は722百万円(前年同期比11.1%減)と前年同期の812百万円から90百万円の減少となりました。

これは、マレーシアにおける霊園事業の売上が668百万円(前年同期比2.9%減)、証券投資事業において売上高が36百万円(前年同期比66.0%減)と減少したことによります。証券投資事業の売上高は、主に香港証券市場に上場する株式・社債の為替による評価損益などによるものです。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、20,496百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、5,494百万円となりました。これは、現金及び預金が94百万円、有価証券が35百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し、14,816百万円となりました。これは、有形固定資産が381百万円減少したことなどによります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べて572.6%増加し、184百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.7%減少し、11,808百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて40.2%減少し、3,434百万円となりました。これは、未払金が2,253百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、8,373百万円となりました。これは、長期借入金が108百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて30.7%増加し、8,688百万円となりました。これは、利益剰余金が1,432百万円及び非支配株主持分が175百万円増加し、自己株式が483百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年2月14日に公表しました「2025年12月期の連結業績予想」を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2025年11月12日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において、宿泊事業における収益の回復が鮮明となり、売上高は7,350百万円、営業利益795百万円、経常利益769百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,432百万円を計上しました。一方、新型コロナウイルス感染症の蔓延により当社グループが休業するなどした時期において、主として当社の連結子会社である難波・ホテル・オペレーションズ株式会社において生じた負債の解消に一定の時間を要すると見込まれ、それに伴い当社グループの資金繰りに懸念が生じておりました。こうした中、当該子会社の未払い債務の最終清算を当第3四半期連結会計期間において実施いたしました。この清算により、1,113百万円を債務免除益として特別利益に計上いたしました。

このような状況を踏まえ、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,869,712	2,964,048
売掛金	622,558	555,716
有価証券	68,137	103,631
貯蔵品	113,693	56,055
開発事業等支出金	1,487,177	1,535,768
その他	235,960	290,567
貸倒引当金	△14,403	△11,235
流動資産合計	5,382,835	5,494,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,202,311	7,785,119
車両運搬具（純額）	14,577	15,878
工具、器具及び備品（純額）	83,134	194,615
土地	5,510,992	5,510,992
建設仮勘定	5,078,731	1,272
有形固定資産合計	13,889,747	13,507,877
無形固定資産		
ソフトウェア	11,986	20,178
のれん	685,590	576,196
無形固定資産合計	697,576	596,374
投資その他の資産		
投資有価証券	119,750	182,867
長期貸付金	449,464	443,560
繰延税金資産	180,491	189,396
その他	127,926	117,308
貸倒引当金	△221,987	△220,620
投資その他の資産合計	655,645	712,511
固定資産合計	15,242,969	14,816,763
繰延資産	27,487	184,873
資産合計	20,653,292	20,496,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	304,519	211,362
1年内返済予定の長期借入金	1,266,107	1,199,480
未払金	3,369,342	1,115,948
未払費用	32,755	23,571
未払法人税等	46,798	259,941
賞与引当金	83,360	56,710
その他	643,390	567,866
流動負債合計	5,746,275	3,434,880
固定負債		
長期借入金	7,672,831	7,781,799
長期預り保証金	226,444	227,538
繰延税金負債	17,506	26,564
その他	343,203	337,245
固定負債合計	8,259,986	8,373,148
負債合計	14,006,261	11,808,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,534,406	8,534,406
資本剰余金	2,646,101	2,688,893
利益剰余金	△6,719,689	△5,287,163
自己株式	△1,032,417	△548,684
株主資本合計	3,428,401	5,387,451
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	279,189	283,266
その他の包括利益累計額合計	279,189	283,266
新株予約権	97,203	-
非支配株主持分	2,842,236	3,017,441
純資産合計	6,647,031	8,688,159
負債純資産合計	20,653,292	20,496,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,989,850	7,350,859
売上原価	4,100,961	4,796,991
売上総利益	1,888,889	2,553,867
販売費及び一般管理費	1,757,007	1,758,455
営業利益	131,881	795,412
営業外収益		
受取利息	15,782	16,341
受取家賃	5,268	5,268
有価証券売却益	23,283	—
持分法による投資利益	100,176	61,496
プリペイドカード失効益	738	788
違約金収入	—	59,733
その他	17,861	23,893
営業外収益合計	163,111	167,521
営業外費用		
支払利息	77,137	119,972
資金調達費用	11,780	10,499
為替差損	24,658	16,279
開業費償却	13,430	35,923
その他	5,920	10,747
営業外費用合計	132,928	193,422
経常利益	162,063	769,511
特別利益		
新株予約権戻入益	—	28,952
債務免除益	—	1,113,728
特別利益合計	—	1,142,680
税金等調整前四半期純利益	162,063	1,912,192
法人税、住民税及び事業税	106,162	355,970
法人税等調整額	7,799	194
法人税等合計	113,961	356,165
四半期純利益	48,102	1,556,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,189	123,501
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,912	1,432,525

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	48,102	1,556,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,011	—
為替換算調整勘定	172,331	4,076
その他の包括利益合計	148,320	4,076
四半期包括利益	196,423	1,560,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,233	1,436,602
非支配株主に係る四半期包括利益	38,189	123,501

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税、住民税及び事業税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月26日開催の株主総会の決議及び2019年5月14日開催の取締役会の決議に基づき付与された第9回 ストックオプションの権利行使に伴い、自己株式12,730,000株の処分を実施いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が483,740千円減少したことなどにより、当第3四半期会計期間末において自己株式が548,684千円、資本剰余金は42,791千円増加し2,688,893千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	237,022千円	329,693千円
のれんの償却額	109,393	109,393

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,177,508	812,342	5,989,850	—	5,989,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,177,508	812,342	5,989,850	—	5,989,850
セグメント利益	277,127	233,340	510,468	△378,587	131,881

(注) 1. セグメント利益の調整額△378,587千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,628,718	722,140	7,350,859	—	7,350,859
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,628,718	722,140	7,350,859	—	7,350,859
セグメント利益	945,430	133,079	1,078,509	△283,097	795,412

(注) 1. セグメント利益の調整額△283,097千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。